

第4回 地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会
研究会参加報告書

林 晴信

2016年10月25日

「地方議会における政策サイクルと評価モデル」研究会

第4回会合次第

到達目標： 議会評価のための全体枠組み、ならびに各次元の政策サイクルについて、メンバー間で合議による合意の形成を行う。

開催日時： 2016年 10月25日（火） 10:00～17:00

会 場： 日本橋コレド 5F

スケジュール（予定）：

10:00 ■討議 議会の政策サイクルと議会評価の標準化モデルについて
北川顧問を交えて

- ・ 議会評価の全体枠組みについて
- ・ 総合計画に基づく長期政策サイクルモデルについて

11:45 ■ランチタイム

13:00 ■討議 議会の政策サイクルと議会評価の標準化モデルについて

- ・ 課題解決に向けた短期政策サイクル（1年程度・通年）
- ・ 時期区分にわけた政策サイクル（議会が政策立案する場合）
- ・ 要素区分にわけた政策サイクル
- ・ 議会が政策立案する場合、時期区分にわけた政策サイクル等

その他、諸連絡等

17:00 ■終了・解散

以 上

議会評価の枠組み

1. 理念／方針

・目指すべき地域経営の理想像／あるべき姿の共有

・都市憲章／市民憲章（人口ビジョン）

・自治基本条例

・議会基本条例

2. 住民協働の推進

- ・住民からの声を集める仕組み
- ・議会としての情報収集の仕組み
- ・主権者教育／市民教育など

3. 政策サイクルの展開

3-1. 総合計画に基づく長期政策サイクル

・総合計画と連動した政策サイクルの仕組み

3-2. 課題解決に向けた短期政策サイクル

・課題解決に向けた政策サイクルの仕組み

4. 議会と議会事務局の能力向上

- ・議会改革度
- ・議員の能力向上
- ・コンプライアンス
- ・議会事務局の能力向上

5. 成果

【個別項目の達成状況】

- ・「1. 理念／方針」
- ・「2. 住民協働の推進」
- ・「3. 政策サイクルの展開」
- ・「4. 議会と議会事務局の能力向上」

【全体／アウトプット】

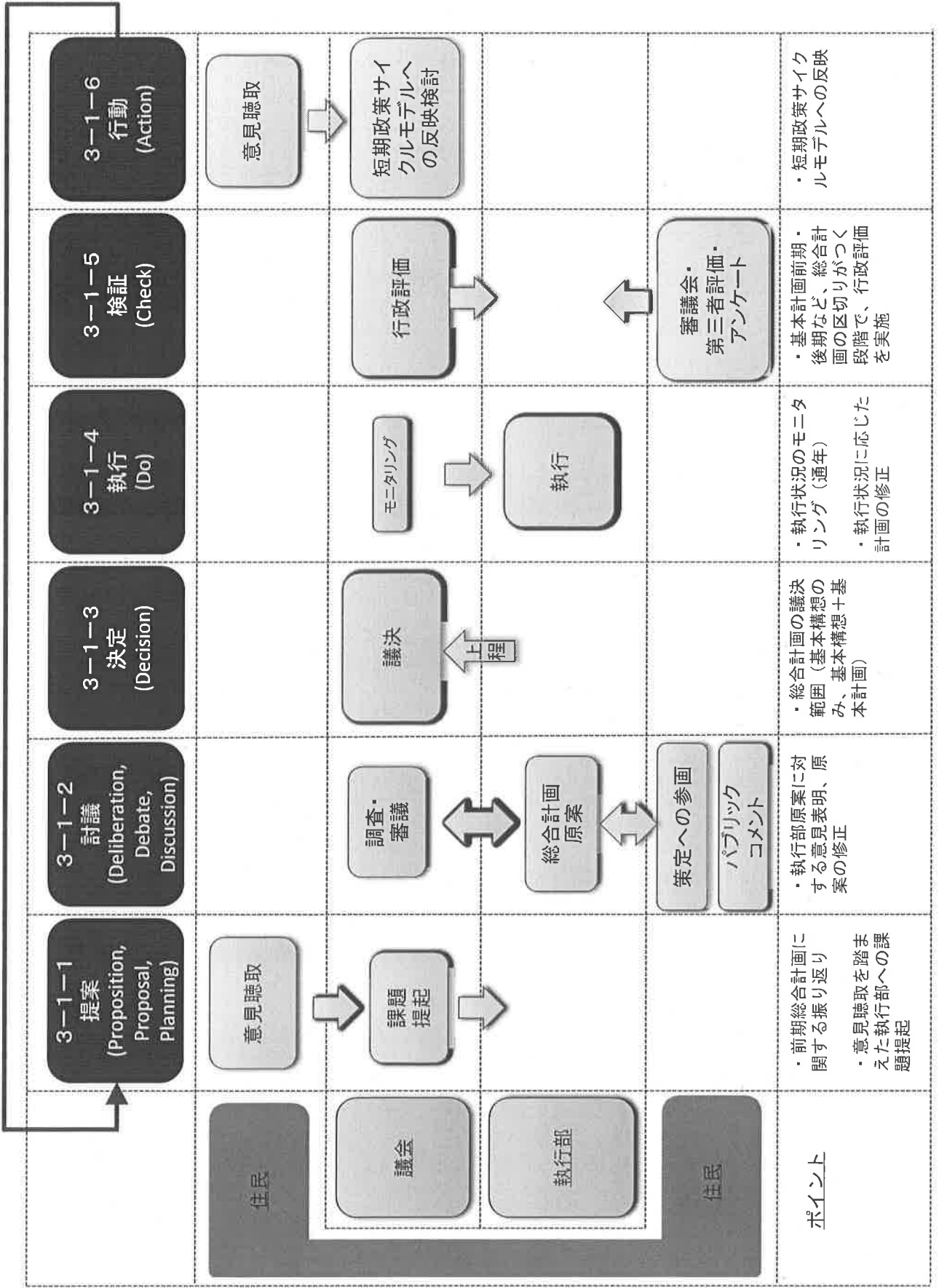
- ・政策への反映
- ・施策事業の実現
- ・条例の制定 など

【全体／アウトカム】

- ・住民福祉の向上
- （住民納得度・幸福度）

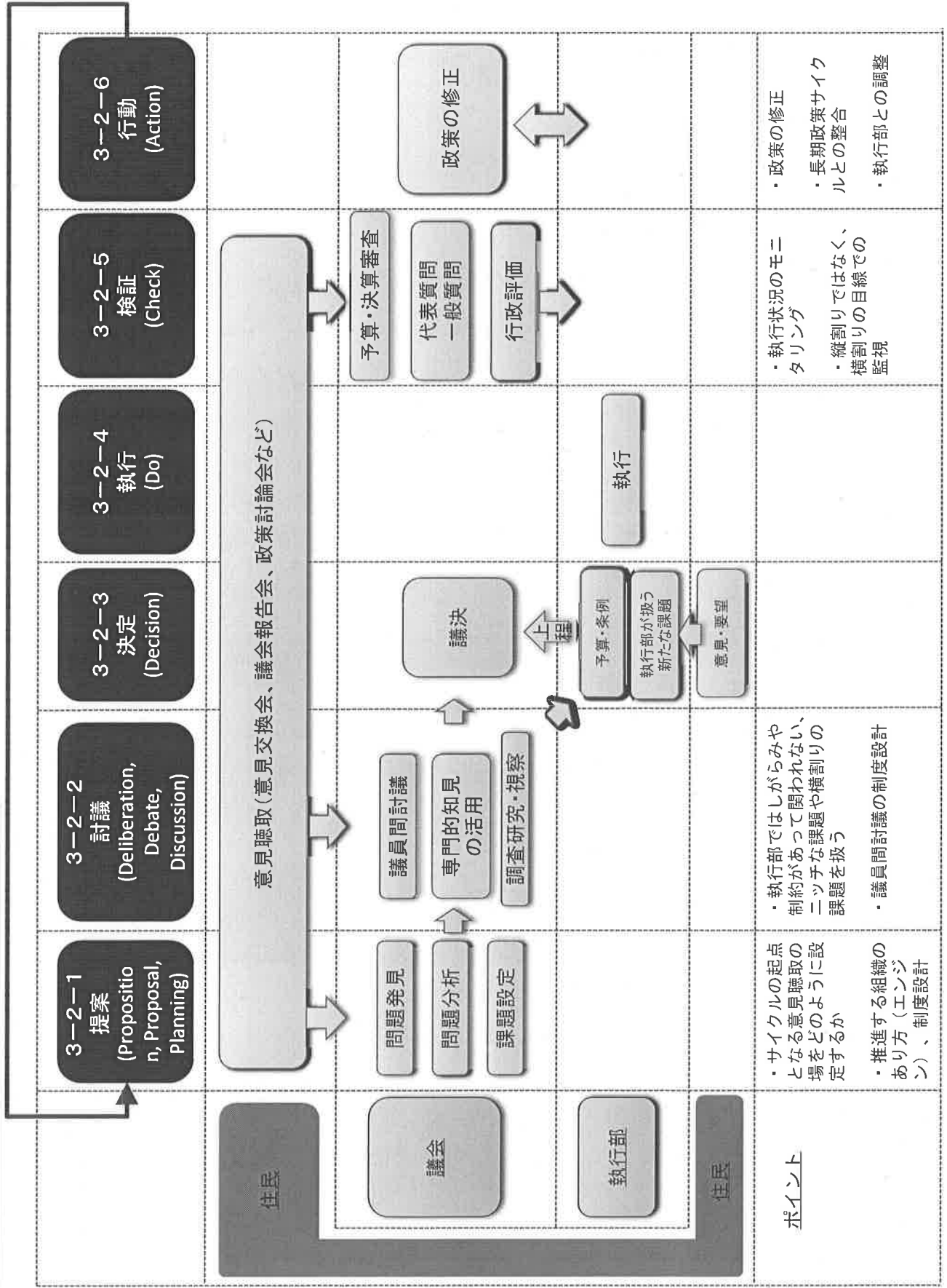
3-1. 総合計画に基づく長期政策サイクル

サイクルの単位イメージ：4年程度（通任期）



3-2. 課題解決に向けた短期政策サイクル

サイクルの単位イメージ：1年程度（通年）



※議会が政策立案する場合のサイクル

参考：時期区分にわけた政策サイクル(検討途中)

	提案 (Proposition, Proposal, Planning)	討議 (Deliberation, Debate, Discussion)	決定 (Decision)	執行 (Do)	検証 (Check)	行動 (Action)
通任期 (4年)	問題発見 問題分析 課題設定	議員間討議 委員会による調査・分析 議員間討議	活動項目と活動計画の決定	委員会による調査・分析 政策提言 モニタリング	議会自身の自己検証 識者による第三者検証 住民モニターによる検証	活動プロセス&成果を住民と共有
通年 (1年)	問題発見 問題分析 課題設定	議員間討議 委員会による調査・分析 議員間討議	活動項目と活動計画の決定	委員会による調査・分析 政策提言 モニタリング	議会自身の自己検証 識者による第三者検証 住民モニターによる検証	活動プロセス&成果を住民と共有
定例会						
ポイント	・住民との意見交換などにより課題の共有		・住民との意見交換などにより活動計画の共有	・住民との意見交換などにより進捗状況の共有		

参考：要素区分にわけた政策サイクル(検討途中)

提案 (Proposition, Proposal, Planning)	討議 (Deliberation, Debate, Discussion)	決定 (Decision)	執行 (Do)	検証 (Check)	行動 (Action)
<p>条例 (執行部提案)</p>	<p>調査・分析 議員間討議</p>	<p>議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>成果の検証 見直し検討</p>	<p>住民との共有</p>
<p>条例 (議会提案)</p>	<p>調査・分析 専門的知見活用 議員間討議</p>	<p>議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>成果の検証 見直し検討</p>	<p>住民との共有</p>
<p>決算</p>	<p>アウトカムの確認 と 課題の抽出</p>	<p>議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>次年度予算 編成への反 映を確認</p>	<p>住民との共有</p>
<p>予算</p>	<p>調査・分析 住民意見集約</p>	<p>議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>進捗確認</p>	<p>住民との共有</p>
<p>決議・意見書・ 報告書</p>	<p>提案者と意見交換 議員間討議</p>	<p>委員会審議 議決</p>	<p>住民との共有</p>	<p>進捗確認</p>	<p>住民との共有</p>
<p>一般質問・ 代表者質問</p>					
<p>ポイント</p>					

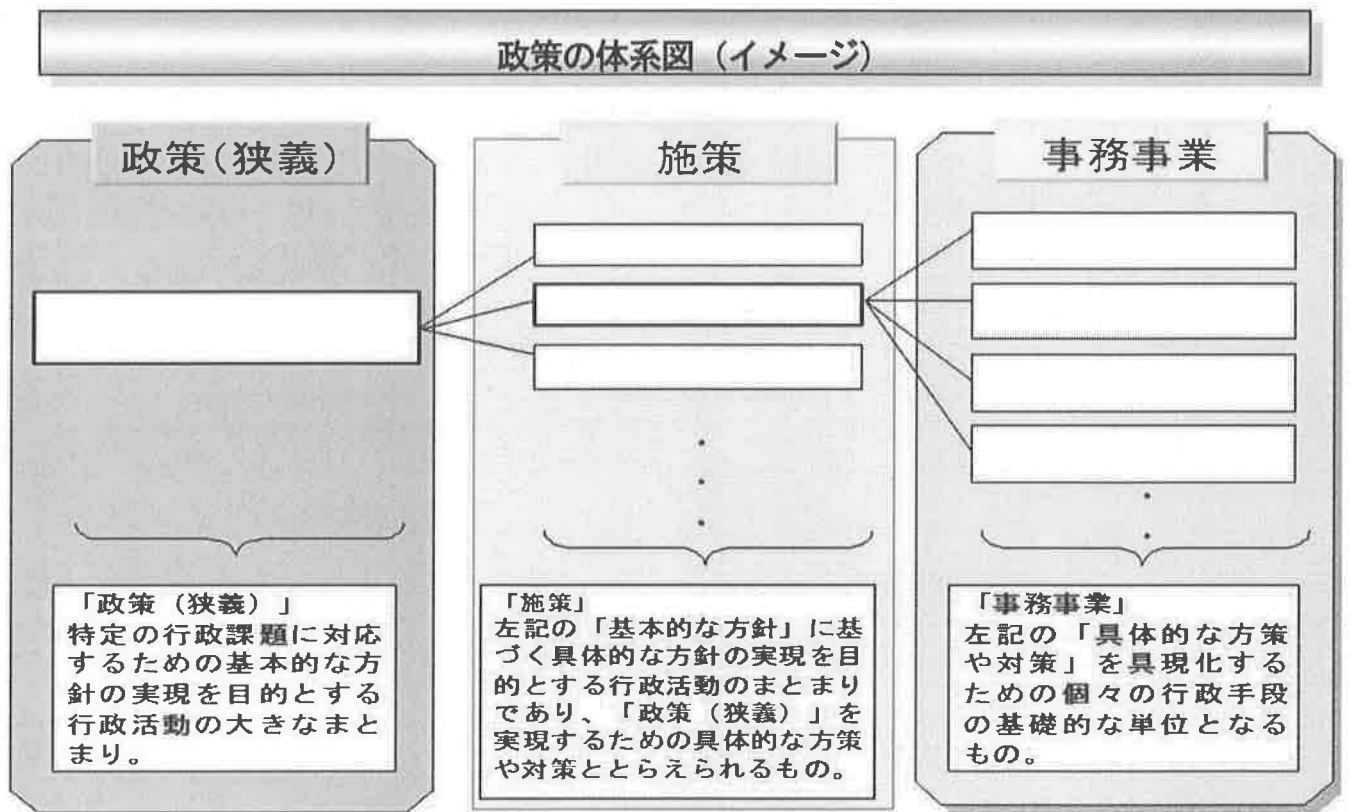
所感

北川先生の話の中で特に印象に残ったのは、「議会は事業評価をアウトプットで見るのではなく、アウトカムで見なければならぬ」ということである。「行政の多くはまだアウトカムが理解できず、アウトプットでしか事務事業を評価していない」との言もあつた。

事業を実施することによって直接発生した成果物・事業量が「アウトプット」。施策・事業の実施により発生する効果・成果が「アウトカム」。

例えば「交通安全を推進しよう」という目的で「歩道の設置」という事業が発生したとする。この場合、「歩道を年度内に500m設置する」というのがアウトプット。その成果として「交通事故件数が減少する」というのがアウトカムである。

行政評価する場合は、事務事業のみを評価するのではなく、政策→施策→事務事業の体系にあることからいえば、最終的には政策に返って、評価を行わなければならない。それがつまりアウトカム評価になる。



議会で評価をする場合、アウトカムについて議論を深めておかないと行政の猿真似評価でしかないところだろう。確かに、議会は合議体であり、多様な意見の集約体(であるはず)なので、いろんな角度・視点での評価が可能なのである。

ただ西脇市議会を鑑みると、今でも市の事業について市行政に対して「市民は何と云ってましたか?」「市民の評判はどうですか?」などと尋ねる議員もよく見かける。まさに本末転倒だろう。議員の仕事を放棄していると言っても過言ではない。「評価をする側」(議員)が「評価される側」(市行政)に対して「評価」を聞くのだから笑い話にもならない。まず我々の意識を変えるところから始めなくてはならない。

アウトプット評価をしているとコストパフォーマンスというような考えばかりに囚われて、行政や議会の最大の目標である「住民福祉の増進」を忘れがちになる。

私は以前、西脇市の前副市長と地方自治法第2条の13にある「最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。」の解釈について議論をしたことがある。私が「最少の経費の中で

最大の効果を生むように事業をするのか、それとも最大の効果を生む事業の中で最小の経費にどうすればなるのかを考えるのか」との問いに明確に答えられなかった。これは事業が先にあるのか財政が先にあるのか論である。委員会終了後、副市長は私のもとに来て、「さっきの話ですが、やっぱり事業が先です。その中でどうやったら最少の経費になるのかを考えるべきです。」と言った。恐らくここが民間企業と行政の決定的な違いなのだろうとも思う。

北川先生のいうアウトカムやチャーター（憲章）の全てを私は理解できたわけではないが、今後も研さんに努め理解し、西脇市議会にもフィードバックできればと思う。

- ・ 成果指標については滝沢市が参考になる（江藤先生）

政策サイクルの話であるが、短期（通年）政策サイクルはまだ理解できるが、長期（通任期）政策サイクルのところは腹にすたとんと落ちてはいない。会津若松市議会の総合計画をベースにした通任期での政策サイクルや大津市議会の総合計画を無視した4年間の「ミッションロードマップ」があるが、具体的手法がまだイメージできない。そもそも西脇市議会には総合計画をまともに見る習慣すら根付いて無いように思うし、独自のミッションロードマップが作成できるかということ、今の体制ではおそらく無理だろう（無理だと決めつけていけば前には進まないのだが）。

まずは現在まだ確立していない短期（通年）サイクルを充実させて、その後ということになるかもしれない。

北川先生からも「ステップを踏んでできるようなモデルを作ったほうがいい。」とのアドバイスもあったし、可児市議会の川上氏からは「多くの視察を受け、全国の議会の実態を知っているが、どう考えても98%の議会がいきなりはムリ（議会レベルが低すぎて）。」との言葉もあった。会議室は笑いに包まれたが、私自身は「ウチのことだな。」と笑えなかった。この辺りは江藤先生も考え方を改めたようで、成熟レベルの低い議会のことも別途考えるとのことだった。

11月の研究会ではもう少し細部を決めていくのだろうと思う。

なお、添付資料はまだ未確定のものであるので、今後の変更は多くあるものである。

余談になるが、この研究会に集まっているメンバーは議会改革に造詣が深いというだけでなく、色んな分野のエキスパートでもある。まちづくり（商店街活性化）、法務、子ども食堂の事務局長なんて人いる。そんな話も聞くのも勉強になる。